

# 大阪の 社会福祉

2020.6

781

The social welfare  
in OSAKA

- 市社協・区社協 外出自粛の中でもつながる安心感を  
— 外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業 — ②
- 城東区 自宅でもできる体操・脳トレ・日記を配付 ③
- 此花区 マスク不足の施設に地域の思いをお届け ③
- 市社協(特集) 地域の力を引き出す「学びの場」をつくる④  
地域福祉活動者のための  
学びのテーマ・ポイント集 ⑤
- シカゴの社会福祉 視察研修参加者レポート⑥
- こんなことやっています！私たちの施設から、  
社会福祉法人 関西中央福祉会 淀川暖気の苑  
暖かい気持ち・感謝の気持ちを持って ⑦
- ⑧



社会福祉 大阪市社会福祉協議会

<http://www.osaka-sishakyo.jp>



▲地域のボランティアの方からお弁当が届けられた(北区豊崎地域)  
※各区で一人暮らし高齢者等へ安否確認を兼ねた食事を配達。  
地域のボランティアや給食事業者が協力。(2面に関連記事)

市社協  
区社協

新しい日常の中でも  
気にかけて合える地域を

市民生活に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症は、緊急事態宣言が解除され、一定の自粛が緩和されたものの、引き続き感染防止に留意しながら生活することが求められている。

地域福祉活動の現場においても、集いの場が開催できなかつたり、自宅で過ごさなければならぬ状況が続く、「人と話さ

ことが少なくなった」「不安を感じることが多い」などの声の間かれる中、各区においても、難しさや迷いの中でも「つながりを絶やさない」ために、工夫しながら取り組みをすすめている。今号では、市・区社協で取り組んでいる「外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業」(2面)、城東区・此花区の取り組み事例(3面)を紹介する。

HB

私たちは自分の価値観や評価基準で人を判断するので、お互いに理解しあえないことも多い▼先日、若者たちとコンパの約束をし、こういう集いにほとんど参加しない高機能自閉症の若者に、一緒に行くかと誘ってみた。

「4時45分、会場近くの噴水の前」と約束をして、一緒に会場へ行こうと思っていた▼ところがあいにく、その日の4時45分は土砂降りの雨。私の理解では、雨が降ろうが槍が降ろうが、自閉症の人はいったん決めたら必ず来ると思っていたので、雨の中で濡れながら、その噴水の前で待っていた。しかし10分経っても彼は現れなかったので、仕方なく一人で会場へ急いだ▼数日後、どうしたのかと聞いたら、約束は忘れていなかったけれど、雨に濡れることが嫌だったとか。自閉症のこだわりにも軽重があって、彼は約束を守るより、水に濡れることにもっと大きなこだわりを持っていったのだ▼「固執」という自閉症の特質は理解していても、その固執の対象は人それぞれ。みんな違う。なぜだか突然「みんな違ってみんないい」という金子みすずの詩が浮かんできて、笑顔で口ずさんでいた。(石)

# 外出自粛の中でもつながる安心感を

## ― 外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業 ―

お弁当で  
つながりを実感

この間、外出やイベント開催の自粛が要請されるなど、地域住民のふれあいやつながりの機会が失われることが懸念される状況が続いた。このような中で、高齢者や障がい者等が、孤立状態に陥ったり、不安を抱えたまま暮らすことがないように、地域の方々とともに、見守りや安否確認等を強化する取組みとして、大阪市社協・区社協では「外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業」を実施している。

その一つとして、地域でボランティアとして活動する方々の協力のもと、食事サービスに登録されている方等を対象として、安否確認を兼ねた食事を配達。各区社協を通して、地域ごとに希望者を募り、給食事業者による個別配達や、会館からのボランティアの方による配達など、5月下旬から6月にかけて、1万食近いお弁当が届けられた。お弁当を届けた地域のボランティアの方からは「久しぶりに会って近況を聞くことができて



啓発チラシとお弁当が届けられた(中央区南大江地域)



笑顔が自然とこぼれる(此花区西島地域)

よかった」「会わない間に少し物忘れがすすんだように見受けられたので、気にかけていきたい」との声も。また、散歩がてら会館にお弁当を取りに来る形態をとった地域もあり、密を避けるため、会館の前で手渡し「元気な顔が見れてよかった」と会話も弾んでいた。お弁当をきつかけに改めて地域でのつながりが実感できる機会になった。

### 外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業 (大阪市社協・各区社協)

- ① 一人暮らし高齢者等への配食  
(みんな食堂等への弁当配付も実施)
- ② 相談窓口情報と啓発物品の配付
- ③ 民生委員・児童委員の協力による電話等による安否確認

※この事業は大阪府の交付金を受けて実施しています

### 区独自の工夫や 民生委員の協力も

配食と並行して、介護予防の取組みや地域のサロンなどの活動が休止していることに伴って、閉じこもりがちになっていく高齢者等を対象に、地域の方々の協力により、相談窓口の情報を掲載したチラシと啓発物品(タオル)を配付。

自宅ポストへ投函したり、連絡先を把握している対象者には電話による安否確認などをおこなうことで、困りごとがあるときに連絡が可能となるように取組みをすすめている。

各区では、健康維持のために体操の記事を取り入れた独自のチラシとあわせて配ったり、何か困ったときに相談できる身近な相談窓口として地域福祉コーディネーターや区社協の連絡先を大きく掲載するなどの工夫も。



一枚ずつ丁寧に作業(NPO法人カフェミロー)

また、各区の民生委員児童委員協議会の協力を得て、民生委員が電話等で、5月の連休中に2万件以上の安否確認をおこなうなど見守り活動を実施。「いつ終わるかわからないのが心配」といった不安の声もある一方で「電話で話せたので少し安心できた」との声も届けられた。これからも、誰かとながっていると感じることができるよう、つながりが途絶えることがないように、地域とともに取り組んでいく。



地域福祉コーディネーターによるポスティング(都島区大東地域)

城東区

# 自宅でもできる体操・脳トレ・日記を配付

新型コロナウイルス感染症に伴い、2月中旬頃から介護予防教室など、地域の集いの場が開催できない状況になっている。高齢者への心身両面への影響が懸念されることを受け、城東区社協では、独自のプリントを配付する取組みをすすめている。

具体的には①ストレッチプリント、②脳トレプリント、③1日の振り返り日記の3種類を用

意。まずは、介護予防教室の登録者(約550人)に郵送したところ、さっそく電話やFAX等で感想や問合せがあった。「送っていただいた脳トレならばステイホームで楽しくやれそううれしいです」「早く再開されることを楽しみにしています」という声が届いている。区社協・介護予防事業担当の川野みどりさんは「教室が中止にな

って以降、家にこもりがちになったと感じられるように。少しでもつながりを感じられるように。区社協としてこれまで培ってきた関係性やネットワークを活かしながら、一つずつ取組みの輪を広げている。

閉じこもりがちな暮らしの中で、少しでもメリハリが生まれるように。少しでもつながりを感じるように。区社協としてこれまで培ってきた関係性やネットワークを活かしながら、一つずつ取組みの輪を広げている。

え、外出しやすくなった時に、出かけることがおっくうにならないうちに、少しでも力になればと思う」と話す。

ほかにも、地域やNPO法人、ケアマネジャー、移動販売等の場面で活用できるよう、生活支援コーディネーターが多方面に配付協力を依頼・調整し進めている。

此花区

# マスク不足の施設に地域の思いをお届け

此花区社協では、地域の方々から協力を受けて、社会福祉施設にマスクを提供する取組みを推進している。きっかけは4月上旬、社会福祉施設から「マスクが不足して困っている」という声を聞いたこと。これを受けて、区社協とつながりのあるボランティアへの連絡や、Facebookを利用した発信など、手作り・使い捨てを問わず、マスクの寄附を呼びかけた。

再びマスクを作成してくれるなど約600枚が届けられ、また、鍼灸院から使い捨てマスク1000枚が寄附されるなど、地域の方々の温かい気持ちが集まった。

区社協では、区社会福祉施設連絡会の加盟施設にマスクの必要数や、この事態の中での近況を聞き取り配付。マスクを受け取った障がい者支援施設は「さっそく利用者に持ち帰っていただきました。いろいろな種類があって、一つひとつにボランティアの皆さんの愛情を感じます」と、ホームページ上で喜びの声を発信している。

今年4月に新規採用職員として着任し、この取組みに関わる区社協・地域支援担当の小林加奈さんは「地域の方や施設とのやりとりを通して、此花区の方々のお互いを助け合う思いに触れることができました。これからもっと地域に向いて住民の方々と一緒に取組みをすすめていきたいです」と話した。

お名前( )

### 1日の振り返り 日記をつけよう!

第 週目	日付	(日)	(月)	(火)	(水)	
運動・会話	運動	会話	運動	会話	運動	会話
記憶のテスト	昨日の夕飯は?	昨日の天気は?	今日誰と話した?	季節の歌を一曲歌いましょう!		
一言日記						

ストレッチのプリントを1日に1回、時間を決めて行いましょう! 脳を活性化させるために、記憶のテストや日記もぜひ書いてみてください。

日付	(木)	(金)	(土)	来週のチャレンジ!
運動・会話	運動	会話	運動	会話
記憶のテスト	昨日着ていた服の色は?	今週の火曜は何して?	今日気になったニュースは?	その1番良い利き手足で(靴を履く・ドアを開ける等)を反対側でする日をつくってみましょう!
一言日記				

一週間分の日記プリント。「今日気になったニュースは?」など頭を使う質問を日ごとに設定

NPO法人日本ストレッチング協会の協力を得て「じょうとうストレッチ」を作成

### じょうとうストレッチ

椅子ストレッチ編

ストレッチは、身体を動かすから起き上がり、リラックス効果や疲労回復の軽減、血行を良くする効果なども期待されています。ぜひ、日常生活に取り入れてください。

1. お手々ぶらぶら 20回
2. 手置くくくる 20回
3. 手回す(へん) 左右 15~30秒
4. 手回す(うしろ) 左右 15~30秒
5. 肩の上げ下げ 20回
6. 胸のすりすり 左右 20回
7. 胸ひらいてとして 20回
8. 腕をひらき 20回
9. 胸ひらいて 15~30秒



区内の方々から寄せられたマスク

今年4月に新規採用職員として着任し、この取組みに関わる区社協・地域支援担当の小林加奈さんは「地域の方や施設とのやりとりを通して、此花区の方々のお互いを助け合う思いに触れることができました。これからもっと地域に向いて住民の方々と一緒に取組みをすすめていきたいです」と話した。

# 地域福祉活動者のための学びのテーマ・ポイント集

市社協が運営する大阪市社会福祉研修・情報センターは、令和2年3月に「地域福祉活動者のための学びのテーマ・ポイント集」（38ページ）を発行しました。  
区や地域での活用につながるよう、収録されている事例や、学びの場づくりのためのポイントについて紹介します。

## 【主な内容】

- ① 「学びのテーマ」全体像
- ② 学びの実践レポート
- ③ 学び方（場面）の種類、パターン
- ④ 地域福祉活動者に学んでほしいこと
- ⑤ 新たに活動に参画する人を広げるために



▲詳細は研修・情報センターHPに掲載



活動の実践者、研究者、社協職員が作成に向けて話し合いを重ねました

この冊子では、こうした多様な学びの場について、どのようなテーマで設定すればよいか、そのポイントは何かについてまとめています。  
作成にあたっては、地域福祉活動に関わる実践者、研究者、社協職員の計11人で構成する検討会で話し合いを重ねました。

社協職員と活動者がともに考えるツールに  
地域福祉活動に参画する人を  
広げ、課題解決に向けたさらなる

展開をめざすには、活動そのものの充実に力を注ぐだけでなく、「学びの場」をつくることも大切です。一言で学びの場と言っても、講師から一方的に教わる講義形式だけではなく、ワークショップ形式の話し合い、他の活動に足を運ぶ視察研修などもあります。  
この冊子では、こうした多様な学びの場について、どのようなテーマで設定すればよいか、そのポイントは何かについてまとめています。

## 学びのテーマ・ポイント集の使い方

- ◆区社協の職員（専門職）と、地域役員・ボランティア（活動者）が、学びの場を一緒に考えていく際に参照してください。活動者が自分たちで考える、あるいは専門職から助言・提案する際にも使えます。
- ◆具体的な実践事例からイメージをふくらませたいときは、前半（①全体像、②事例）から。（活動者の方にも読んでいただきやすい内容となっています）
- ◆より詳細に学びの場の内容やポイントを考えるには、後半（③学び方の種類・パターン、④テーマ・ポイント、⑤新たな参画のヒント）へ。（主に専門職向けの内容となっています）

## 「学びの実践」 として9事例収録

冊子では、具体的な学びの場面を検討するヒントとなるよう、「学びの実践レポート」として9つの事例を紹介しています。

集合型で講師の話やワークショップ型で意見を出し合うものなど、さまざまな実践を取りあげています。

事例ごとに、「きっかけ」「ポイント」「参加者の声」や、学びのテーマ・ポイントのどの項目と関連するかをまとめており、イメージをふくらませることがができます。

### 5 男のカフェ講座(旭区)



男性の集い・学びの場「旭しょうぶ大学」卒業のOB会の方の発意から、カフェボランティア講座を開催。スタッフも参加者も男性中心の「男のカフェ火の鳥」が生まれた。

### 6 子ども食堂における食物アレルギー勉強会(住之江区)



子ども食堂の運営にあたり、食物アレルギーの知識が必要であることから、活動者向けの勉強会を企画。区内の医療法人が社会貢献として協力し、開催した。

### 1 わいわいトーク(阿倍野区)



地域の強みや暮らしの困りごとについて、気軽なおしゃべりを通じて、気づき、共有する場を地域単位で実施。計4回開催し、ここから新たな活動も生まれました。

### 7 地域のお宝！再発見(港区)



民生委員児童委員、ネットワーク委員、町会等による団体の垣根を超えた見

守りに向けた研修会を開催。地域でのつながりは「お宝」であることを確認した。

### 2 自主点検会議(東成区)



校下社協の役員や活動者、専門職が集まって、地域福祉活動の状況をふりかえり。思いを出し合いながら、活動の成果や課題、今後の方針を確認し、次へ活かします。

### 8 地域の見守りと専門職との協議の場(住吉区)



声かけ見守り活動をおこなうメンバーが定期的に集まって情報共有。区社協などの専門職も参加しており、解決に向けてともに動くための場となっている。

### 3 平野地域声かけ見守り訓練(平野区)



認知症等によって道に迷っている人や困っている様子の人に声をかける訓練を継続的に実施。地域住民と専門職と一緒に検討し、事前学習やふりかえりもおこない、地域全体として見守り意識の向上につながるよう取り組んでいる。

### 9 災害時のママ・パパの心構えセミナー(北区)



妊婦さんや赤ちゃん連れのママ・パパを対象にセミナーを開催。災害に対して備えるとともに、自分たちの住む地域を知り、つながりをつくる機会となった。

### 4 地域活動協議会 実務者交流会「人材発掘編」(住之江区)



地域の若い担い手とリーダー層が、活動に参画してほしい人材、仲間を広げるためのプランを話し合い。計3回開催し、最後は企画案をプレゼンテーションした。

# 「学びのテーマ」全体像 (地域福祉活動のための学びのテーマ・ポイント集)



(冊子P1～P2抜粋)

## 新たに地域活動に参加する人を広げるためのポイント

- ① 地域において多様な役割・活躍場面をつくり出す
- ② 活動者個人の経験・強みを活かす
- ③ 地域における実績不足・経験不足への対応
- ④ 新たな担い手に対する理解と度量
- ⑤ 在勤・在学者等への配慮や仕掛けの必要性
- ⑥ 福祉や地域活動と関わりがないと“思われていた”方々へのアプローチ

7つのテーマを参考に  
学びの場をつくらう

地域福祉活動における「学び」は多様ですが、活動を進めるために必要な学びについて、検討会ではA～Gの7項目に整

理しました。「社会福祉の理念」「制度に関する基礎知識」「組織運営・管理」「活動づくり」「連携・協働」「情報発信」「防災」といったキーワードが並び、項目ごとに学ぶ内容、学びの視点、場面設定の例、参考資料などをまとめています。

また、地域福祉活動の学びを考える際には、「新たな担い手をどうやって広げていくか」という課題をセットで考えることも多いでしょう。そこで、巻末には「新たに地域活動に参加する人を広げるために」と題して、5ページにわたってヒントを紹介しています。

この冊子の今後の活用に向けて、大阪府社会福祉研修・情報センターの廣瀬大記課員は「地域で活動しておられる地域役員やボランティアの方は、活動するうえで悩みごとや課題をお持ちだと思えます。この冊子を見ていただき、皆さんの活動や、学びの場づくりの参考にしたいだければ幸いです。ぜひ、社協職員と一緒に見ていただき、研修の企画や学びの場の設定についてご検討ください。研修・情報センターでは、冊子にも記載されている『広報』や『連携』に関する研修を計画していますので、皆さまのご参加をお待ちしています」と話しています。



# こんなこと やってます! 私たちの施設から 31

社会福祉法人 関西中央福祉会 淀川<sup>だんげ</sup>暖気<sup>その</sup>の苑

## 暖かい気持ち・感謝の気持ちを持って

淀川暖気<sup>だんげ</sup>の苑は平成7年に創立しました。「暖気」という言葉はドイツ語の「ダンケシェーン」から言いかえた言葉で、「暖かい気持ち・感謝の気持ち」を理念のもと設立されました。

淀川暖気<sup>だんげ</sup>の苑は高齢部門と障がい部門の2つに分かれており、同じ建物の中に特養と障がい支援施設があります。現在、入所施設以外にも障がい者グループホームや作業所、生活介護、高齢者のデイサービスが2ヶ所、訪問介護、ランチ、居宅介護支援事業所、また関東にも老人保健施設・特別養護老人ホームなどの入所施設もあります。この25年の間に多くの事業を展開してきました。



敬老会の様子

地域貢献として創設当初から多くのボランティアが活動されており、今でも創設当初のボランティアが多方面で活動されています。特に高齢部門では特別養護老人ホームやデイサービスに多くのボランティアが来られています。

そのボランティアの活動ですが、学習療法・喫茶・入浴搬送・書道クラブ・塗り絵・歌や踊り、体操、ゲーム、理美容、第3者委員会など多種多様に活動され、また季節の行事などでは夏の「納涼祭」や秋には地域との交流である「ふれあいフェスティバル」を開催しています。大きな行事では通常のボランティアだけではなく、学生や市民の方など多くのボランティアが活動を求めてこられます。

そんなボランティアさんは暖気に関わる利用者様やご家族様に少しでも楽しんでもらおうとさまざまな形で貢献していただいています。

暖気では常に暖かい気持ち・感謝の気持ちを持って利用者様と接することを心がけ、職員をはじめ、多くのボランティアが利用者様と共に楽しく過ごせる空間をたくさん作っていきたくと考えています。

住所 〒532-0013 大阪市淀川区木川西4-5-40  
Tel 06-6885-7811 Fax 06-6885-7813  
HP <https://danke.tokuyou.jp/>

### 視 各種表彰

民生委員児童委員協議会(民児協)の主な関係者の受章は次のとおり。(敬称略)

#### ◆大阪府知事表彰

- 三木 一誠 (福島区民児協会長)
- 森本 久雄 (淀川区民児協会長)
- 川井 邦彦 (城東区民児協会長)

### 支える人を支えよう!!「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」にご協力ください!

#### 趣 旨

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、さまざまな方々が影響を受けておられます。

赤い羽根の大阪府共同募金会では、中でも、全国の共同募金会ならびに中央共同募金会とともに、地域で増加すると考えられる子どもと家族をめぐる生活課題に対して、人目に見えにくい現場でさまざまな福祉課題に対する取組みを実施している団体・グループを対象に、きめ細やかな助成により支援をおこなうことを目的として、募金活動と助成事業を実施しています。

#### 募金の募集期間

令和2年5月11日(月)から令和2年6月30日(火)  
※社会情勢及び寄付の状況によって延長する可能性があります。

#### 募金の方法

##### ①振込によるご寄付

金融機関：ゆうちょ銀行 口座番号：00990-8-220  
口座名義：社会福祉法人大阪府共同募金会

- ※ゆうちょ銀行の窓口からの送金手数料は無料です。
- ※通信欄に、必ず「赤い羽根 緊急支援募金」とご記載ください。
- ※領収書が必要とする場合は、通信欄に必ず「領収書 必要」とご記載ください。

詳しくは、大阪府共同募金会ホームページ  
<http://www.akaihane-osaka.or.jp>をご覧ください。

**赤い羽根おおさか** **検索**

問合せ=大阪府共同募金会  
TEL：06-6762-8717 FAX：06-6762-8718  
Eメール：ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp

立ちどまらない保険。  
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

**GK**

1児までの保険 住まいの保険 介護の保険

www.ms-ins.com